

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会学校教育推進室 令和2年10月8日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

タブレット型コンピューター「iPad」の活用～主体的・対話的で深い学びへ～

子どもたちが、学習内容を社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、主体的に学び続けるために、学校では、これまでの教育の蓄積を生かし、学習の質をより一層高め「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブラーニングの視点に立った授業改善）の取組みを進めることが重要です。

そのツールの一つとして東大阪市においては、昨年度までに、電子黒板を全小中学校に整備し、今年度は、一人一台のiPadの整備を進めているところです。

iPadなどのICT機器は、時間的・空間的制約を超えること、双方向性を有すること、カスタマイズが容易であることなどが特長です。

このような特長を効果的に活用することにより

- ◆子どもたちが分かりやすい授業
- ◆一人ひとりの能力や特性に応じた学び（個別学習）
- ◆子どもたちどうしが学び合う協働的な学び（協働学習）

などの学びをさらに推進することが可能になります。

今後も、各校に1名位置付けている学力向上支援コーディネーターの連絡協議会等で、iPadを活用した授業について研究協議を重ねていきます。

授業開始5分間でiPadを使って、eライブラリに取り組んでいる様子です。一人ひとり個別最適化された学習は、子どもたちの主体性を育みます。



ノートに自分の考えを書いている様子です。これまでの学校教育の蓄積が伺えます。ノートをiPadのカメラ機能で撮影し意見交流もします。



iPadを使い、一人ひとりの考えを共有し、グループの意見をまとめ、その画面を電子黒板に映して全体交流をする準備をしている様子です。



意岐部東小学校 5年生 算数科の授業より

小中連携教科指導の取組み ～指導方法の工夫改善定数を活用して～

大阪府の加配を活用した小中連携教科指導を金岡中学校区で実施しています。教科は、理科で取り組んでいただいております。小学校の先生は、中学校の理科の先生とともに授業実践を進めることで、教科の専門性を高めながら、中学校の学習内容を見通した指導につなげています。また、中学校の先生は、小学校の先生方の実践を持ち帰り、中学校での授業の改善につなげることができるなど、中学校区の先生方が互い情報を共有しながら連携し、実践を行っています。

具体的には、電子黒板やiPadなどを効果的に活用し、子どもたち自身がより主体的に実験や考察を進めることができるような工夫された授業に取り組んでいます。



コロナ禍における子どもたちの心のケアのために

学校園では・・・

子どもたちが安心して学校園生活を過ごせるように、環境整備や感染対策を行うことはもとより、「心と体の健康チェックリスト」や「生活アンケート」等を活用して、継続的に子どもたちの心身の状況の変化を把握し、個に応じた支援を行っています。

また、状況に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と協力して子どもたちの支援を行っています。

学校園全体で教職員がチームとなって子どもたちの心のケアに努めています。子どもの気になる様子等があれば、学校園までご連絡下さい。

心と体の健康チェックリスト(案)

高学年・中学生用
実施日 年 月

年 組 番 名前()

新型コロナウイルスの流行などで、急に学校園が休みになったり、思いっきり勉強や遊びができなくなったりすると、わたしたちの心と体はいろいろな変化をすることがあります。それは誰にでも起こることです。でも、これのままにしておくのはよくありません。自分の心や体の様子を知ることで、このチェックリストを使って、この困難の関に受かったことがあったかたてみましょう。

このあてはまる項目に(O)を付けてみましょう。

	全く当てはまらない	あまり当てはまらない	やや当てはまる	よく当てはまる
心配でイライラして落ち着かない				
前がドキドキしたり、喜ぶくなる				
気分が落ち込みやすい				
眠れなかったり、寝て目が覚めてしまったりする				
自分の居場所がないように感じる				
悩んでいることや困っていることがある				
食欲がない				
頭痛や腹痛がすることが多い				
体を動かしたいと思わない				
運動するとすぐに疲れる				
合計(Oの数を書きましょう)				

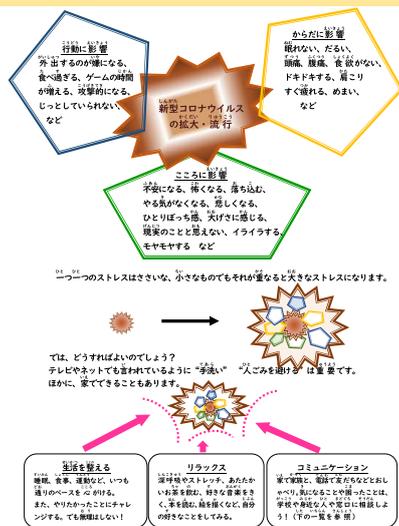
Oの数の気持ちを具体的に書いてみましょう。

家庭でできること

新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちは不安やストレスを抱えており、そのことから心や体、行動に様々な影響を与えると考えられます。スクールカウンセラーからのメッセージでは、子どもが家でできることとして、「生活を整える」「リラックス」「コミュニケーション」の3つがあげられています。

保護者の方へのお願い

- 「規則正しい生活」が送れるよう、サポートしましょう。
- 遊びや趣味の時間を確保してあげるなど、子どもが「リラックス」できる環境を作りましょう。
- 積極的に「コミュニケーション」をとり、子どもの心身の状況を把握しましょう。
- 家庭内で子どもが「相談しやすい雰囲気」を作りましょう。
- 学校と家庭で連携して、お互いに「情報共有」を行いましょう。



府教育庁 HP「スクールカウンセラーからのメッセージ」より

大阪 880 万人訓練実施！



『大阪 880 万人訓練』が9月4日(金)に行われました。写真はその日に合わせて避難訓練を行っている加納小学校の児童の様子です。各教室で事前指導を行い、その後雨天のため、校内の避難経路を確認する訓練となりました。



今年度は新型コロナウイルス感染症に対応した避難訓練が、学校園で実施されています。避難訓練では、地域や保護者の方に参加していただき、実際の避難場所を確認していただけた学校もありました。



今後も地震や火災等を想定した避難訓練を実施し、子どもが主体的に考え行動できる態度を育成するとともに、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める防災教育を推進していきましょう。

加納小学校児童の振り返りより

- ・あらかじめ自分で危ない所や安全な所を確かめておくと、避難の役に立つと感じました。
- ・本当に地震が起きたときはちゃんと机の下に避難したいです。